

皇朝文獻通考

特別
14
696
99



14
696
99

懸相文之寫

懸相文之寫



はつの中を又ひきあはつてはれ

如書
懸相文之寫



いづれかたはらうへはれはるるを
わいのちれいこのまをけり書あそそ
あそそまをけり書あそそそ
まをけり書あそそそ
まをけり書あそそそ

一説にの若き代はけの書に於て此
水のたさみ来りしとて子孫をまじ
らふらあへくは拜

あやうめ
つまじら
これとひをえ方々
そのみたおせあ
二意四なり

まふのりらつた
張保姫の
らりし年

○三章 系子居他

大のトク

初年や赤糸礼儀を重おどり
目んあひす儀年こそもたる

小のトク

まふのまことぞうにま解 祇道とん
目んあひすもて 後以てまを

○高島式部三州園守秋高長とては唱奇
そくしてあはすまやうあなるりともあ
こくしてそあたる

○主申 歳旦 系子居

一 東洋の歴史を考へて其の源流を究むるに
 七の或るもの其の源流を究むるに
 大正元年の四月に於て
 博愛會の所
 神を以て其の源流を究むるに
 以て其の源流を究むるに

一
 一
 一

神社改革月毎齋意之士壯望教女美園一水志

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
---	---	---

神を以て其の源流を究むるに

○文房作下投
文房作下投
あはれおのれ
金の飾
一白名道のるを

○式人
式人
世の中は
おまねはよく
おまねはよく

○新田
新田
おまねはよく
おまねはよく
おまねはよく

○梅清
梅清
西条二条
洋館
おまねはよく

- 千歳
政書
おまねはよく
- 若鶴
友尾
おまねはよく
- 若丸
羊香
おまねはよく
- 後俊
承徳
おまねはよく

○有
有
おまねはよく
おまねはよく
おまねはよく

秋のよき心を大集つて

鄭の文を買ひて若くも三つ人

○此夜時深橋をたの誰れを天孫舟をたの

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

狂るるせしあやう

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

○今年秋は後を

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

○今年秋は後を

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

○海の家先生

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬 舟馬

Handwritten Chinese characters, likely a title or header.

Extensive handwritten text in Chinese characters, organized into several columns. The text appears to be a detailed record or list.

Handwritten text in Chinese characters, organized into several columns. The text appears to be a detailed record or list, similar to the one on the opposite page.

田九世... 天... 兩... 別...
 又曰... 考... 大... 何...
 天... 兩... 別...
 又曰... 考... 大... 何...
 天... 兩... 別...

○二...

醉九... 治... 福... 紹... 增... 新...

富完... 新... 方... 一... 子... 寧...

陸... 著... 大... 一... 子... 八...

昭... 新... 紹... 紹... 八...

然坂 九〇二

一史

为三

西征

二十身

三版二

西本鏡

二版三

瓜等入

九下九

三ノ所

三ノ所

○二十五年一月廿五日

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

德地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

大 德 地 者 外 野 人 月 日 猪 日 德 地 野 人

并 高 倉 社

朱珍石

長門古

廣門下

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

長門古

廣門下

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

長門古

廣門下

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

飛鳥古

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

中

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

上

下

下

下

下

下

下

下

下

下

下

下

下

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

一版ノ凡俗ニ墮ルヲ憚リテ其志ヲ行クハソレ得久昌ニ遊
ハシ且年家ニ以テ此ノ輝ノ酒也故今ヨリ及ニ持テ
不レハ多ク三波ノ朝方ニテ也ナリ口語ナリ也

○二年二月

先年冬中在河津成山深川之好所後以
今山行所也所海濱村本所也其
幸し此所也

二年二月八日

東山寺
山本

兼大福二小福
水光由心軒
葉張乃新言

○二月廿三日

高田百石

御一新後軍功

因リ為賞典如斯

永世令分與者也

明治四年
辛未九月

子賀與八并

從一位德川慶勝 ○

從二位德川義宣 ○

○賞典録

各古金銀

年未三... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

大... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

二... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

一... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

由... 賞典録... 各古金銀... 出仕依回

無一廢存亡事一
 人可異曰英名
 以女子
 顯軍功

右二
 左二
 右三
 左三
 右四
 左四
 右五
 左五
 右六
 左六
 右七
 左七
 右八
 左八
 右九
 左九
 右十
 左十

右二
 左二
 右三
 左三
 右四
 左四
 右五
 左五
 右六
 左六
 右七
 左七
 右八
 左八
 右九
 左九
 右十
 左十

仲夏將
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

福山將
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

東市府
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

關指使
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

青島縣
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

海安府
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

井原守道
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

松平定教
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

松平容大
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

兵部省
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

右政官
將軍若初自夏并調治表九馬
將軍若初自夏并調治表九馬

是已而... 爲之... 前日... 後道... 宗之... 明久... 日本... 與... 始... 皇曆... 大...

和... 伏見...

和... 伏見... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

伊之加部大所也
 尾張屋
 恒吉
 深
 弁吉
 平吉
 清吉
 清吉
 清吉
 伊之大高屋
 安丸屋

右之人相續其部有河邊

一談湖嶽講堂

○二月二十七日

一多小隊
 一多村小之治
 櫻井六之助
 高木一

火川路所
 小右幸

寺宮
 寺宮
 松本貞次
 右田右之衛

四葉集

浪水房抄序

西川茂安序

小澤明之丞

河村政清序

吉田廣雄

久保母一

松井清所序

家田徳三序

木全水三序

三葉集

七葉集

長坂總司

丹下是吉序

村瀬乙巳序

作者芳政序

八葉集

右正名之者共々確義之初有之也
臨附書友より其不固申白立りて更へて
其不固不申白也

一葉集

海巴勢三序

三葉集

林 隆之序

神戶村公所

六島小隊

山田 市之助

佐藤 隆子

七島小隊

松本 千七郎

右六島之町名口控役之町名之町名隊所

六島より其小隊入申之町名之町名更之今より

三島より其小隊入申之町名之町名更之今より

四島小隊

高田 昌吉

鈴木 作次郎

元三番集

小島 信吉

三浦 保

五島小隊

杉浦 金之助

杉村 景之助

七島小隊

今村 勝之助

野村 大蔵

右八島之町名口控役之町名之町名隊所

八島より其小隊入申之町名之町名更之今より

三島より其小隊入申之町名之町名更之今より

三島より其小隊入申之町名之町名更之今より

野老游自之名字中又曰

林 台

山 谷

景 石

水 路

龜 谷

石 殿

柳之種雁白也之五尺辰位業業

從良子括初行一切續有之

黃金中為家下物

元正氣源

柳生 極雅

石 以

玉 木

石之通更中法海傳籍又說

海

柳生 唯

石八軍切二甲之

白同保之名其古其諱其乾其修祿
後之分之通修身下端之身

〇三月廿五日
寫於...

性

沃

清

被

...

角

...

...

...

...

...

...

...

志

...

...

...

高砂

欽古 舟十舟 一史 古舟六

舟十舟 舟十舟

梅川

被友 舟十舟

舟十舟

舟十舟

舟十舟

舟十舟

舟十舟

朝比奈 甲全三印

舟十舟 舟十舟

舟十舟

舟十舟 舟十舟 舟十舟

舟十舟 舟十舟 舟十舟 舟十舟

舟十舟 舟十舟 舟十舟

朝比奈 甲全三印

高砂
故友
新古所
新古所
新古所
新古所

梅川
相友所
相友所
相友所
相友所

相与
相友所
相友所
相友所
相友所

子道人
三辰二
三辰二
三辰二
三辰二

口渡
御料理
纏上長蛇
赤系湯

有今般以并帳中
右張在
赤姑中
極上舞
仕下並
有二三卷
中用白澤
申付
申付

一 御酒
代七
代七
代七
代七

一 吹上
代七
代七
代七
代七

三月七日
御酒軒



朝比奈

高砂
救友
抄本
抄本

1. 高砂抄本
 2. 高砂抄本
 3. 高砂抄本
 4. 高砂抄本
 5. 高砂抄本
 6. 高砂抄本
 7. 高砂抄本
 8. 高砂抄本
 9. 高砂抄本
 10. 高砂抄本
 11. 高砂抄本
 12. 高砂抄本
 13. 高砂抄本
 14. 高砂抄本
 15. 高砂抄本
 16. 高砂抄本
 17. 高砂抄本
 18. 高砂抄本
 19. 高砂抄本
 20. 高砂抄本
 21. 高砂抄本
 22. 高砂抄本
 23. 高砂抄本
 24. 高砂抄本
 25. 高砂抄本
 26. 高砂抄本
 27. 高砂抄本
 28. 高砂抄本
 29. 高砂抄本
 30. 高砂抄本
 31. 高砂抄本
 32. 高砂抄本
 33. 高砂抄本
 34. 高砂抄本
 35. 高砂抄本
 36. 高砂抄本
 37. 高砂抄本
 38. 高砂抄本
 39. 高砂抄本
 40. 高砂抄本
 41. 高砂抄本
 42. 高砂抄本
 43. 高砂抄本
 44. 高砂抄本
 45. 高砂抄本
 46. 高砂抄本
 47. 高砂抄本
 48. 高砂抄本
 49. 高砂抄本
 50. 高砂抄本
 51. 高砂抄本
 52. 高砂抄本
 53. 高砂抄本
 54. 高砂抄本
 55. 高砂抄本
 56. 高砂抄本
 57. 高砂抄本
 58. 高砂抄本
 59. 高砂抄本
 60. 高砂抄本
 61. 高砂抄本
 62. 高砂抄本
 63. 高砂抄本
 64. 高砂抄本
 65. 高砂抄本
 66. 高砂抄本
 67. 高砂抄本
 68. 高砂抄本
 69. 高砂抄本
 70. 高砂抄本
 71. 高砂抄本
 72. 高砂抄本
 73. 高砂抄本
 74. 高砂抄本
 75. 高砂抄本
 76. 高砂抄本
 77. 高砂抄本
 78. 高砂抄本
 79. 高砂抄本
 80. 高砂抄本
 81. 高砂抄本
 82. 高砂抄本
 83. 高砂抄本
 84. 高砂抄本
 85. 高砂抄本
 86. 高砂抄本
 87. 高砂抄本
 88. 高砂抄本
 89. 高砂抄本
 90. 高砂抄本
 91. 高砂抄本
 92. 高砂抄本
 93. 高砂抄本
 94. 高砂抄本
 95. 高砂抄本
 96. 高砂抄本
 97. 高砂抄本
 98. 高砂抄本
 99. 高砂抄本
 100. 高砂抄本

他許之多少及

三月中

太政官

○縣廳山内南極山行物

因人外年長未之

三月十日改

名古屋縣第三十三區内不區之籍總計

春日井郡杉村東杉分

戶數 百二十四軒

内 家持 百二十四軒
借家 二十四軒

寺 一

士族 十三人 家族 四十九人 内 男 二十九人

卒 六十四人 家族 二百零一人 内 男 百零九人

坂草縣元令院縣母房寄任七人 家族 十九人 男 十三人

僧 一人 家族 男 四人

尼 一人 家族 女 三人

赤大信の東の事... 諸君... 昔の事... 下... 捨...

○大信

皇太子... 皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子

皇太子

二月十五日... 皇太子... 皇太子...

本号... 皇太子... 皇太子...

蓮絲... 皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

海... 皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

皇太子... 皇太子...

きこふん...
たぐ...
み...
魚?

役行者御杖兩股竹



長四尺餘

行者竹生嶋...
地ニ樹北所人...
竹生嶋...
靜御前所并

初音鼓筒
左京大夫持信宗師
皇極時繪
文字アリ
左京大夫持信宗師
皇極時繪
文字アリ
皇極時繪
文字アリ

十六羅漢漢唐二画
舍利講式一卷

唐画
尊圓親王御
弘法大師筆

大日經
上新來經目錄者

弘法大師筆

遠山
綴錦大衣
不梅金鈴土銘
同金剛盤

弘法大師所并
弘法大師所并

高別院御所并
以上色佛舍利
以空大僧正筆并

大唐新譯聖教序
聖王天皇帝御宸翰
松花堂裏書
元三大師筆

華嚴經
法華經
千手經
道風筆

立世阿毘曇論
清盛公
合筆

諸佛護念經 吳養筆
 斤桐東市正棟札 木房長四八寸幅七寸并
 御給旨 延元二年六月十八日左中辨 花押 横格
 和歌一卷 後亦極筆
 依藤太秀卿太刀

大カニ 申テ 大カニ

日部

美昭公御賜差 白帶入 中心 義晴
 黄金弥勒觀音小像
 細川勝元消息 遷協

○二月十八日三月廿九日
 正觀世音菩薩筆 木下坊 雲根山長母

西面海... 城東觀音三十三所中ノ細曲
 夕夕... 夕夕... 夕夕...
 川前建札

臨濟宗
 當山

開山師
 二月廿九日

堂中張掛
 東席 齋益禪社
 西席 元洲和成

住持... 正和元年壬子
 十月入定...
 岩田至申年迄五重壬午
 成

二月廿八日三月廿八日
本尊 菩提樂

二月廿八日三月廿八日
東方大圓鏡瑠璃光菩薩

二月廿八日三月廿八日
海三庭 聖觀音菩薩

味鏡也
味鏡山護國院

水道先
無量壽院

二月廿八日三月廿八日
本尊 馬頭觀世音菩薩

二月廿八日三月廿八日
本尊 觀世音菩薩

二月廿七日三月廿七日
本尊 十一面觀世音菩薩

二月廿七日三月廿七日
本尊 觀世音菩薩
切カレリヨリ...

吉根也
本尊 山麓之草

喜目也
鳳凰山甚目寺

二月廿四日三月廿四日
本尊 十一面觀世音菩薩

二月廿四日三月廿四日
本尊 觀世音菩薩

二月廿八日三月廿七日
本尊 觀世音菩薩

本尊 觀世音菩薩

大河原
所澤北院

二月廿七日三月廿七日
日蓮上人入古石を志

日蓮上人
長林山定徳寺

二月廿七日三月廿七日
本尊 觀世音菩薩

光
雲松山善念寺
梅度山松念寺

五折

○二丁井口方三丁口方

此字の原

親せきと書き替はし請
地方にて保衛せしむる也

中折村
北條山邊と書き替はし
現住
其教

○三丁井口方三丁口方
改信信州關野

我三丁
信州關野

信州關野
吉原

○三丁井口方三丁口方
改世

吉原
大雪山醫王寺

三丁井口方三丁口方
吉原
大雪山醫王寺
大雪山醫王寺
大雪山醫王寺



信州關野
吉原
大雪山醫王寺
大雪山醫王寺
大雪山醫王寺

7

中折村 曼荼羅四照之縁

折信吉原と書き替はし
横佩と書き替はし

曼荼羅と書き替はし
知れぬと書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

山と書き替はし
山と書き替はし

○二月廿八日 泉取地蔵堂

其自... 地蔵堂

○三月朔日 權業師

其自... 權業師

○三月廿七日 重相傳

其自... 重相傳

○三月廿五日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月廿三日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月廿一日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月十九日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月十七日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月十五日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月十三日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月十一日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月九日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月七日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月五日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月三日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○三月一日 聖徳太子

其自... 聖徳太子

○二月廿八日三好氏の子
親賢上人 木内

木内 親賢堂

○三月廿七日四月八日
二西親賢

海部 親賢堂

○三月廿一日江戸山東京師の

道田 縣令官轄

大北 松本 前山 山崎

田村 美奈

六十二 三九 七十七

中村 美奈

八十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

松本 美奈

三十二 三九 七十七

雲川 雲江 下

以上

○二月小牧殿より永成殿へ書紙付し書下
才の書一紙御牧所へ書付し書紙付し書下
才の書一紙御牧所へ書付し書紙付し書下

○三月初大分赤子乳堂より大山嶽下迄の赤子殿
若菜宗縣上政

川以埋止の内書所跡より又通御所へ在りし
御書宗縣上政

三月九日中宮御所跡御書所
御書宗縣上政

二軒書の御所跡御書所
御書宗縣上政

愛知縣官員分訂録

權令

井關盛長

參事

山口元イワニ
長 裕臣

權參事

松井清蔭

○庶務課

共事

大屋裕義

庶務課 初本元イワニ

檢典事

岡田 彬

工等出仕

服部直衛

士等出仕

伊藤 啓

三寺出仕

牧 光

十等出仕

增田 知

十一等出仕

山正輝

十二等出仕

充茂

社寺掛

十二等出仕

熊澤有義

十寺出仕

三輪 祥

反籍掛

士等出仕

宮島 一正

十寺出仕

木村 易

編輯掛

士等出仕

無布達掛了了

服部 憲

學校掛

士等出仕

柴田 方直

縣掌勤向心得

士等出仕

成田 長隆

士等出仕

野間 隆賢

平掛

士等出仕

大野 精孝

士等出仕

丸毛 利恒

士等出仕

小川 吉房

士等出仕

岡田 宗立

士等出仕

種田 直範

布達掛

官員進退箱訴掛

勤怠等外使部雜使掛

里正郡長戸長雜掛

○聽訟課

上等出仕

高木三雅

二等出仕

高島正載

三等出仕

小西氏徳

四等出仕

水谷由義

五等出仕

白井邦寧

五等出仕

吉木久

新獄問

上等出仕

大塚信立

士等出仕

伊臣弘之

士等出仕

中村忠敬

士等出仕

坂本長清

士等出仕

長坂正道

十三等出仕

津田頼三

十四等出仕

諸富保義

十五等出仕

秋山恕卿

十五等出仕

市川久義

諸務稜刑囚獄不綿

十四等出仕

土山知和

十五等出仕

落合直哉

十五等出仕

齋藤徳直

教育捕七掛

租稅課

權典事

山崎 彪

總括

下等出仕

魚堤防橋梁東京
地券斷取掛

増田 一

十五等出仕

生野友尚

帳面締括

士等出仕

木村重之

士等出仕

吉見補義

春日井郡掛

士等出仕

近藤時宜

士等出仕

中山元義

士等出仕

村井高忠

愛知郡掛

士等出仕

奈良勇義

士等出仕

服部重文

士等出仕

鈴木邑秋

士等出仕

不破守善

海東郡掛

士等出仕

梅澤延宜

士等出仕

馬淵益謙

士等出仕

高木忠義

中島郡掛

三等出仕

福田頼實

上等出仕

横井 巷

五等出仕

安藤因蔭

丹羽郡 葉栗郡
海西郡 掛

三等出仕

湯淺宗義

上等出仕

東京 吉田 為行

五等出仕

下 千田 惟安

七等出仕

下 落合 伊正

堤防橋梁掛

十二等出仕

大貫忠清

十三等出仕

相川 氏家 文真

三等出仕

堀田 利貞

地券掛

十四等出仕

八ツツ 黒柳 徳三

雜稅掛

十等出仕 東地兼掛 坂上元合 市川武真

十等出仕 市川通誠

十等出仕 村田忠書

十等出仕 山本義治

十等出仕 星野敬重

十等出仕 戸田重明

十等出仕 石川真清

○出納課

典事

山口 生田純貞

十等出仕 伊臣忠一

十等出仕 服部居敬

十二等出仕 星名幸旦

十四等出仕 淺見定時

十四等出仕 松原榮隆

十四等出仕 外山 錫

十等出仕 加藤文彬

管繕掛

十等出仕 福島陽義

三等出仕

玉置重美

三等出仕

鈴木重瑞

用度掛

三等出仕

館盛一

○東京詰

十二等出仕

東京 杉村景之

十四等出仕

鈴木重用

十五等出仕

長谷川吉敷

